

宮之城中学校との交流会が南日本新聞に掲載されましたので紹介します。

地元高校の特色 体験授業で確認

宮之城中3年

さつま町の宮之城中学校3年生約170人が薩摩中央高校の授業を体験した。町内には中高それぞれ1校しかなく、地元高校の魅力や進学の増加につなげる狙い。昨年度から両校が共同で開いている。

同高校は普通、生物生産、農業工学、福祉の4学科ある。中学生は5月26、27日、通常の授業の中から関心の



ある2コマを選んで受け、学生3人が牛舎の清掃に励んだ。26日の「畜産」では中
む高校生を見学し、牛のブラッシングも体験した

写真。

三角覇琥はるくさんは「高校生が懸命に作業する姿から牛への愛情が伝わってきた。進路選択の参考にしたい」と話した。宮之城中によると、2021年度の卒業生165人のうち薩摩中央高に進学したのは29人、20年度は165人中24人だった。

(右田雄二)